

Q&A

人々が暮らしやすい市(まち)にするために



肥塚 康子 議員

YASUKO KOEZUKA



移住・定住の促進について

二世帯住宅への改装また新築のための補助金は出ないか。

世代間の支え合いによる子育て環境や高齢者の見守り、空き家の活用から有効と認識している。現行の促進施策に加え、多世代同居・近居の促進に繋がるような事業の実施に向け調査・研究していく。

高齢者の移動手段について

御津区域の公共交通の問題で住民の声を反映し課題解決に結びつける考えはないか。

地域公共交通会議で協議される。これ以上の区域外運行はできないので、現行の公共交通を利用してもらいたい。

免許返納時の特典に電動自転車等の購入費用に補助はでないか。また必要性に応じて特典を選択制にできないか。

運転に不安を持つている高齢者の身体的能力の可否判断が難しいことから助成については考えていない。特典の選択制については検討中である。

男女格差について

ジェンダー平等に対する現状と、今後の市の取組について問う。

審議会など政策提案の場への女性が占める割合は低い。市職員の管理職の割合は高い。積極的な女性管理職の登用に努め啓発を進めている。

補助金を出して各自治会の決定機関において女性を増やす取組は考えられないか。

現在のところ考えていないが、女性が主体的に活躍できるように男女共同参画社会の実現に向けて努力していく。

男女共同参画の拠点施設や条例の設置の考えはないか。

現在、人権推進課で対応している。今後関係団体等とも議論を進め研究していく。



Q&A

令和2年度たつの市全体の出生数が386人であることについて考える



楠 明廣 議員

AKIHIRO KUSUNOKI



小学生一人に掛かる教材費は給食費を含めて年額約8万円と聞かすが、無償化できないか。

小学生世帯への支援については、まずは給食費の無償化について、財源確保を検討した上で段階的に取り組んでいく。

池田市が乗用車を無償貸与しているように、市内事業所のダイハツ等の協力を得た子育て支援施策は考えられないか。

平成28年以降、たつの市企業版ふるさと納税として、子育てを中心とした事業に賛同される市内約20企業から寄付いただき、施策に活用している。

出生数がこのような状況であれば、小学校の統合も広域化を必要があると考えられるが。

地域や保護者の理解を得ながら広域的な統合を検討していく。併せて小中一貫教育も推進していく。

年金制度の改正により、年金受給の選択範囲の上限が75歳までになれば、それまで働こうとする方が増えると考えられるが、雇用は確保されるのか。

市では、ハローワーク龍野と雇用対策協定を結んでおり、高齢者を含む多様な人材の活躍を促進するとともに、より一層連携を深め、市内企業の人材確保対策に努めていきたい。

野見宿禰神社一帯を本市の文化資源として発信するためには、文化財指定すべきでないか。

文化財指定するには、まず申請者を特定し、申請を受け付けるかどうかから始めたい。

龍野IC南地域の道路整備について

今年度中のまちづくり協議会設立を目指しており、南北幹線道路の4車線化は、事業全体のスケジュールを勘案し、兵庫県へ要望や調整を進めていく。

その他の質問事項

- 新型コロナウイルス3回目ワクチン接種について
- 選挙後の市民へのあいさつ行為の禁止について